

立教大学コミュニティ福祉学会 「まなびあい」第17回年次大会

大会運営関係者一覧

※学年・肩書は報告・執筆時

【まなびあい運営委員会】

運営委員長

木下 武徳

事務局長／交流会・シンポジウム担当

阪口 毅

事務局次長

鈴木 弥生

分科会担当

任 セア、白石 敦子

シンポジウム担当

重田 史絵、小林 友香、星 梢

大会会場設営・受付担当

中島 莉緒、米山 大雅

学会誌『まなびあい』編集委員会／記録担当

上林 陽治（編集委員長）、津富 宏（副編集委員長）、竹内 悟、露木 茜

事務局

増田 由紀、赤沼 紗規子

【シンポジウム】

テーマ「地域の居場所を支えるのは誰か？」

シンポジスト

山中 大輔 氏（社会福祉法人大田区社会福祉協議会／コミュニティ福祉学研究科
博士課程前期課程2009年修了）

大内 巖児 氏（まぜこぜたい 代表）

司会

西田 恵子（福祉学科 教員）

記録編集

重田 史絵（福祉学科 教員）

【分科会】（各発表 15 分、質疑応答 7 分程度）

会場	時間	発表形式・所属・発表者	発表タイトル
N333 司会・コメンテーター 上林陽治先生	13:05 ~13:30	<団体> 福祉学科2年 玉城 丈司、谷崎 咲楽、藤本 陽煌、 石井 澄佳、石渡 友梨	デジタル媒体が与える 児童の発達への影響
	13:30 ~13:55	<個人> コミュニティ政策学科4年 武田 彩	中学生の居場所を考える
	13:55 ~14:20	<個人> 福祉学科4年 谷口 智朗	子どもの福祉に関心を持つ 全国の若者が集うコミュニティ 「子ども福祉大学」の取り組みについて
	14:20 ~14:45	<団体> コミュニティ政策学科3・4年/上林ゼミ 鬼柳 陽己、堀切 彩光、下河邊 大貴、 高橋 采奈、森下 夏月、荒川 陽菜、 米本 あかり、小山 七未	子どもの権利
N432 司会・コメンテーター 佐野信子先生	13:05 ~13:30	<個人> コミュニティ政策学科4年 児島 莉奈	労働において時間的自由を求めることは 生活の安心を諦めることか
	13:55 ~14:20	<団体> スポーツウエルネス学科3・4年/佐野ゼミ 佐野 信子、村井 璃音、末田 みこと、 池口 祐可	体育の『男女共習』を再考する —文献検索から得た知見をもとに—
	14:20 ~14:45	<団体> スポーツウエルネス学科3年/沼澤ゼミ 相澤 拓摩、若野 紘弥、石塚 心、小山 海音、越川 陽菜、庄司 凜花	MBTIを活用したスポーツ指導の 新しいアプローチ
N433 司会・コメンテーター 瀧田江里子先生	13:30 ~13:55	<個人> コミュニティ政策学科4年 巖 周元宸	中国人移民女性の社会参加と エンパワメント —集住化コミュニティの役割—
	13:55 ~14:20	<個人> コミュニティ政策学科4年 高木 裕人	若者のライフキャリア探索とコミュニティ —コミュニティエンパワメントの観点から—
N434 司会・コメンテーター 武者忠彦先生	13:05 ~13:30	<個人> コミュニティ福祉学研究科 博士課程前期課程1年 東 大陽	関係人口としての クラインガルテン利用者
	13:30 ~13:55	<個人> コミュニティ政策学科3年 朝香 七海	アルザスを例とした国境地帯の 言語的アイデンティティについての考察
	13:55 ~14:20	<団体> コミュニティ政策学科3年/藤井敦史ゼミ 稲村 日鞠、熊谷 菜々子、西原 なつみ	連帯の力で創る持続可能な地域社会 —無茶々園の事例より—
	14:20 ~14:45	<個人> 福祉学科4年 齋藤 ののか	有機農業における 持続可能性についての考察 —無茶々園の事例を参考に—

【コミ福万博】

出展形式	出展者・団体
団体	一般社団法人 COAs
団体	任意団体 チアアップ彩たま
団体	りつるぐ
団体	学生団体 peace&voice
団体	立教大学 立川プロジェクト
団体	学生団体 セントリベル
個人	子ども・若者の居場所作りプロジェクト
団体	NPO 法人 good!